

## 教科横断型授業「国語総合(現代文)」×「数学Ⅰ」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(13番)「気候変動に具体的な対策を」			
実社会での課題	近年、気候変動に伴う災害は増加の一途をたどっている。100年前と比較すると、災害で亡くなる人の数はおよそ4分の1になっているが、先進国と呼ばれる国々においては直近25年とその前の25年を比較すると、100万人あたりの災害による死亡者はおよそ4倍になっている。災害、そしてそれを引き起こしている気候変動に対してどのように向き合っ解決をしていくかが課題となっている。			
生徒に身に付けさせたい資質・能力	データを元に社会の諸問題を考えるとともに、その背景を考えることができる。授業で用いた考え方をもとに、環境問題等の解決策を考えることができる。			
主題(教材)	国語総合(現代文)「動的平衡の回復」・数学Ⅰ「データ分析」			
指導過程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等
	導入	5	○ 「FACTFULNESS」という本を紹介し、世界を所得ごとに4つのグループに分けられることを捉えさせる。	○ パワーポイント ○ 本
	展開	5	○ 所得によってデータが変化する理由を考察させ、グラフの背景にあるものを探ることの重要性を理解させる。	○ パワーポイント
	展開	10	○ 所得の低い国々で死亡者が半分以下になった理由を考察させ、説明をさせる。	○ パワーポイント
	展開	5	○ 現代文「動的平衡」の内容を思い出し、その内容から問題を推測することにより、授業での学びが実際の問題に繋がることを理解させる。	
展開	4 各SDGsの目標を選び、その目標について「動的平衡」の観点から注意すべきことを班でまとめ、発表する。	20	○ SDGsを考える際に「動的平衡」を同時に考えることによって多角的な視点から問題を捉えることを理解させる。	○ ロイロノート
整理	○ 学習内容を確認する。	5	○ 「動的平衡の回復」の「本当の意味で環境を考える」ということの意味を本時の内容から理解させる。	○ 生徒用端末
備考				